

常任委員会
特別委員会



建設が進む西町団地

決算審査 特別委員会

第1回（9月16日）

・正副委員長の互選について

構成

委員長 篠原 議員
副委員長 茂呂竹 議員

委員
佐藤 議員 白馬 議員
村田 議員 藤原 議員
山内 議員 藤谷 議員

平成27年度の一般会計、5つの特別会計（国保会計、後期高齢者会計、介護保険会計、下水道会計、簡易水道会計）、上水道事業会計の決算について審査を行うため設置しました。

～議会の録画を配信しています～

インターネットを利用した定例会の録画配信を行っています。町のホームページにアクセスしてご覧ください。

<http://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/> から「議会インターネット中継」をクリック。

総務文教常任委員会

第5回（8月31日）

- ・教育委員会委員の選任について
- ・津別町と二水郷との中学生相互交流事業の進展状況について
- ・恵和福祉会特別養護老人ホームいちいの園等への支援について
- ・多目的活動センター条例の一部改正について
- ・奨学金返還支援事業助成金制度について
- ・網走地方教育研修センター組合規約の変更について

産業福祉常任委員会

第5回（9月1日）

- ・津別小学校内部改修について
- ・日本岐小学校体育館の利用について
- ・手数料徴収条例の一部改正について
- ・森林バイオマス熱供給施設工事について
- ・西町団地暖房費について
- ・農業委員会委員の定数条例の制定について
- ・農業委員会委員の委員選任に関する規程の制定について

議会運営委員会

第6回（9月9日）

- ・農業委員会委員候補者評価委員会運営要綱の制定について
- ・第5回津別町議会定例会の運営について
- ・平成27年度各会計決算の認定について
- ・意見書等の取り扱いについて

議会広報特別委員会

第19回（10月13日）

- ・議会報161号の編集について

町長行政報告

報告された事項

第5回定例会

（9月15日）

- 網走川流域一斉清掃事業
- 北網圏地域医療構想
- 地域活性化プログラム
- 地域相互支援型自治体推進モデル構築に係る研究事業報告会
- 津別町創生総合戦略会議
- 交通事故致死ゼロ日運動
- 筑波大学とのまちなか再生事業
- 8月15日からの大雨等の対応
- 道道屈斜路津別線の土砂崩れによる通行止め
- 民進党北海道「2016台風等災害対策本部」によるオホーツク総合振興局管内現地視察
- 防災・減災対策への支援に関する協定の締結
- 第2回全国木のまちサミットへの参加
- 二水郷中学生との相互交流事業
- 建設工事等の発注状況



議会日誌

7月

28～29日 オホーツク圏活性化期成会夏季要望(東京都)

29日 岡山県笠岡市議会(会派)視察来町

8月

1日 網走地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会定期総会(北見市)

9日 オホーツク圏活性化期成会JR関連要望(札幌市)

10日 千葉県八街市議会(会派)視察来町

30日 網走郡下町議会議長・副議長会議(美幌町)

31日 第5回総務文教常任委員会

9月

1日 第5回産業福祉常任委員会

9日 第6回議会運営委員会

15～16日 第5回津別町議会定例会

16日 第1回決算審査特別委員会

第4回全員協議会

役場新人職員と議会議員との意見交換会

10月

13日 第19回議会広報特別委員会

議会傍聴のご案内

会議当日の受け付けで傍聴できます。

議会日程は、

・議会事務局 76-2151 内線266

・ホームページ

<http://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/>

歯車

は ぐ る ま

先頃、津別町商工会女性部の「東北復興視察研修」に参加して来ました。個人的には3度目で、震災3ヵ月後に行った時には、町が流れ平地になってしまった所々、名取市閉上(ゆりあげ)の日和山神社では百日の法要が営まれ、私たちも一緒に参拝しました。2度目の一昨年は、仮設住宅や仮設の商店街も増え、嵩上げ作業のためのトラックが頻繁に走り復興に向かっていました。皆さんの記憶には残っているでしょうか、南三陸町では「地震の後には津波」の意識が高く、防災対策庁舎では繰り返し「高台への避難」を防災無線で呼びかけ続けましたが、3階建て庁舎を2mも上回る津波が来て、多くの犠牲者を出しました。震災から5年が過ぎ建物の保存が決まったのが、南三陸町の防災対策庁舎と多くの子ども達が犠牲になった旧大川小学校です。それらはその場に立って「しっかりと記憶」し、その教訓を未来につなげていこうという表れかと思えます。復興はまだ道半ばです。一日も早い復興を祈っています。(篠原)

意見書

関係行政庁へ
提出しました

■「要介護1・2」の「保険外し」を中止し、安心の介護保障を強く求める意見書

【要旨】

介護保険をめぐるのは、一昨年「要支援1・2」の訪問介護、デイサービスなどが保険対象から外されたばかりである。「医療・介護総合法」では市町村の事業に移され、平成29年度から全自治体で実施するとしているが、各地で受け皿不足が浮き彫りになり、利用者・家族の不安を高めている。特別養護老人ホーム入所条件も「要介護3」以上とされたため、「要介護2」以下の人達の行き場探しがますます困難になっている。

政府は各市町村における状況の検証もせず、新たに要介護認定を受けた人の過半数を占める「要介護1・2」の軽度者約229万人の訪問介護、福祉用具貸与、住宅改修などを保険給付から外そうというもので、来年の通常国会提出を目指し具体案の検討を始めている。「負担あってサービスなし」では、国民の納得は得られず、介護保険制度の根幹を崩しかねない。よって、「要介護1・2」の「保険外し」を中止し、安心の介護保障を強く求めるものである。

■林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

■JR北海道・JR四国・JR貨物に係る税制特例の恒久化等を求める意見書

■農業・農村を崩壊させかねない農政改革とTPPの拙速な国会承認の反対を求める意見書

■「米政策改革」の抜本的見直しを求める意見書

■指定団体制度の堅持など酪農政策の確立に関する意見書

■後期高齢者医療制度における保険料軽減特例の維持・継続を求める意見書

は ぐ る ま